

**平成28年度
第6回
気高地域振興会議**

日 時 平成28年10月18日(火)

午後1時30分から3時50分

場 所 気高町総合支所2階 会議室

〔出席委員〕

横田昭男会長、西尾雅彦委員、堀尾正委員、池原隆秋委員、下村益雄委員、
田中敦志委員、松本弥生委員、荒尾純子委員、水津文恵委員、三澤秀正委員、
米田克彦委員

〔欠席委員〕

池長綾子副会長

〔事務局〕

鈴木敏支所長、橋本浩之副支所長、木下敬一産業建設課長、村上郁恵市民福祉課長、
中原登地域振興課課長補佐
水道局 有本水道局次長、中島所長
都市整備部交通政策課 竹中主幹

〔傍聴者〕

なし

◎会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 簡易水道事業の上水道事業への統合に伴う水道料金及び維持管理体制について
 - (2) 総合支所整備(耐震化)の推進について
- 4 報告事項
 - (1) 気高循環バスについて

(2) 新市域振興ビジョン推進計画の進捗状況について

5 その他

6 閉会

◎議事概要

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 簡易水道事業の上水道事業への統合に伴う水道料金及び維持管理体制について

(会長) 早速ですが、協議事項に入らせていただく。まずは、簡易水道事業の上水道事業への統合に伴う水道料金及び維持管理体制について、水道局に説明をお願いします。

[資料1に基づき説明] (略)

(会長) 委員の皆さんからご意見、ご質問があればどうぞ。

(委員) 上水道と簡易水道は水質が違うのに、料金が統一になるのはいかなものか。6人、7人家族など人数が多くなると負担増にならないようにしてほしい。

(事務局) 水道料金については、水道事業審議会で審議中です。

(委員) 一般家庭の水道使用量は、20m³が普通なのか。

(事務局) 平均的には、そうです。

(委員) 水道に入っている塩素の量はどこの場所でも一律なのか。

(事務局) そのとおりです。

(委員) 下水道料金はどうなるのか。

(事務局) 変更はありません。

(委員) 10月14日(金)に気高町給食センターの水道に異物が混入したと聞いたが、今後もありえるのか。

(事務局) 当日は、給水車を出し対応をしたところですが。受水槽以降に原因があるのではないかと考えています。

(委員) これまでの簡易水道の収支はどうだったのか。

(事務局) 簡易水道の経営基盤は脆弱で、毎年赤字となり市が補てんをしている状況です。

(委員) 今後の施設の維持管理はどうなっているのか。

(事務局) 順次、敷設替えをしていきたいと考えています。

(委員) 工場で使う工業用水への配慮が必要だと思う。

(事務局) 鳥取市としては、企業誘致に取り組んでいるので、他都市より有利になるようには、今後検討していきたいと考えています。

(委員) 今はなくなったが三洋電機の工業用水は、市の工業用水を使っていたのか。

(事務局) 鳥取県企業局が所管する工業用水を使用していました。

(委員) 青谷にある企業はどの用水を使っていたのか。

(事務局) 市の工業用水を利用しています。

(委員) たくさん使う企業のほうの負担が大きくなるがどうか。

(事務局) 定額で決まっているものです。

(2) 総合支所整備(耐震化)の推進について

(会長) 協議事項の2番目に入らせていただく。総合支所整備(耐震化)の推進について、橋本副支所長に説明をお願いします。

[資料2に基づき説明] (略)

(会長) 委員の皆さんからご意見、ご質問があればどうぞ。

(委員) 第5案の第2庁舎を活用し一部増築する案で進められているが、面積的には現在の土地でも平屋建てが可能であり、屋上を有効活用するなど考えられないか。

(事務局) 今後、実施設計で検討していきます。

(委員) 支所業務が分散しているので、プレハブでも建てて一箇所にすることはできないのか。例えば、町民体育館を土間にして使用することはできないものか。

(事務局) 大変ご不便をかけています。設計施工の一体化を検討するなどできるだけ工期を短縮していきたいと思っており現在のところはプレハブで施設での対応は考えていません。町民体育館は耐震上問題があり使用は難しい状況です。

(委員) 現在の第2庁舎2階の会議室も事務所として使用して、分散した業務を集約してはどうか。

(事務局) 今後、実施設計で検討していきます。

4 報告事項

(1) 気高循環バスについて

報告事項の気高循環バスについて、交通政策課竹中主幹より説明をお願いしたい。

〔資料3に基づき説明（略）〕

（会長）何かご質問などがあればどうぞ。

（委員）現在の逢坂線は、会下、下原を通らないルートになっている。循環バスは、鹿野温泉病院を起点にして運行されているが、この病院では送迎用のバスを走らせている。こういう既存のバスとの連携、協力はできないものか。

（事務局）病院が無料でサービスとして運行しているものであり、運行許可が必要となりほかの人が利用するのは難しいと思います。

（委員）少し遠回りになるが会下、下原を走らせるルートにしてはどうか。

（事務局）どの程度の乗車が見込めるのか地元の意見も聞きながら検討していきたいと思います。

（委員）循環バスの広報が不足している。もっと力を入れるべきだ。

（事務局）支所と連携して広報をしていきたい。

（委員）鹿野町のスクールバスが廃止されると聞いたが、バスの台数で循環バスは運行できるのか。

（事務局）来年4月にスクールバスは廃止し、現在使っているバスを使用して対応できるようダイヤを組んでいきたいと考えています。

（2）新市域振興ビジョン推進計画の進捗状況について

報告事項の新市域振興ビジョン推進計画の進捗状況について、総合支所の各課長より説明をお願いしたい。

〔資料4に基づき説明（略）〕

（会長）何かご質問などがあればどうぞ。

（委員）気高もジオパークエリアに拡大認定されたが、取り組みが弱いと思うが。もっとPRすべきではないか。

（事務局）のぼり旗を立てたり、ビデオを上映させる場所なども含めて考えていきたいと思えます。

（委員）予算額だとか事業内容を掲載するだけではなく、目標、課題に対してどうだったのか、もっと見せ方の工夫が必要だと思う。

（事務局）本庁担当課と相談し進捗状況の表の見直しを検討していきたいと思えます。

（委員）地元特産品は、しょうが、塩さばだけが記載してあるが、ほかにもどんどろけ飯、

気高牛、郷土料理など気高にはある。これらもイベントでPRしていくべきではないか。

（事務局）文化祭などで、取り上げていきたいと思います。

（委員）企業誘致の進捗状況はどうか。また、大雨警報発令時など、自宅に近い場所への避難は可能か。

（事務局）企業誘致については、いろいろな場所を検討中で、まだ公表できる状況にはありません。

避難場所について、地区公民館への避難も可能です。ただ、1次避難場所としては、気高町では気高町コミュニティセンターを指定しています。地震の場合は、気高町農業者トレーニングセンターを指定しています。

（委員）要援護者支援制度では、プライバシーの問題もあるが、対象者名簿が活用でき役に立つ名簿とならないか。

（事務局）区長、民生委員へは名簿を出していますが、区長だけが持っている地域もあり取扱いについては、それぞれで違ってはいるようです。

5 その他

（委員）防災行政無線の個別受信機が今後なくなることから、地区のお知らせをする広報車を走らすことを考えてほしい。

（事務局）情報提供の仕方については、検討をしているところです。

（委員）浜村地区で、街中とか海岸線、景勝地を活かしたストーリー性をもったフットパスが考えられないのか。魚見台周辺の道路の一部公園化なども検討できないか。

（事務局）地元でも、コースを検討するなどフットパスを開催してほしい。魚見台周辺の公園化について、その可能性があるが国土交通省に問い合わせしてみます。

（事務局）次回は、11月の開催を予定している。日程は後日調整したい。

6 閉会

（会長）以上、会議は終了します。